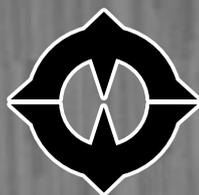


平成22年

4月号

(544号)



広報

かねやま



向かい旅立つ

卒業証書授与式～

学校の統合により開校した金山中学校。第一中と横田中それぞれの伝統を引継ぎ融合させ、新たな歴史をスタートさせた16名の卒業生が、たくさんの思い出を胸に学舎を後にしました。



卒業証書を授与された卒業生

16名が卒業

昨年の4月に新設された金山中学校で初めてとなる卒業証書授与式が3月12日に行われました。

式では初めに卒業する16名の名前が読み上げられ、登壇した卒業生一人ひとりに渡部登代子校長から卒業証書が授与されました。

続いて渡部校長から「卒業生は第一中学校と横田中学校が統合してできた金山中学校の基盤を作ってくれた。これからは未来の自分のために今の自分を鍛えて欲しい。そして、感謝の心を持って人とのきずなを大切にそしてさらに自分を鍛えて歩んで欲しい」と式辞を述べました。



第一号の卒業生 菊地優衣さん（土倉）

祝福の言葉

校長式辞に続いて菅家貞夫町教育委員長が「自分に自信を町に誇りを持ち、変化の激しい時代だが、周囲に感謝の気持ちを忘れずこれからの金山町を担って欲しい」と教育委員会告辞を述べました。

引き続き押部源二郎金山町長職務代理者、長谷川盛雄町議会議長、栗城孝志父母と教師の会長が卒業生の新たな旅立ちを祝してはなむけの言葉を贈りました。



自らの夢に向かい歩み出す卒業生

自らの夢に ～第1回金山中学校

感謝の気持ち

在校生を代表しての送辞は横山しほりさん（川口）が行いました。

横山さんは統合して初めての文化祭「金中祭」や部活動での卒業生との思い出などに触れ「卒業生は優しく親切に接してくださいました。皆さんが礎を作ってくれた金山中学校をもっと素晴らしい学校にしていきたい」と力強く語り、卒業生に感謝の気持ちを贈りました。



よりよい学校にすると誓う在校生

誇りを胸に



答辞を述べる中丸さん(左)と渡部さん(右)

卒業生を代表して中丸あすかさん（大志）と渡部まささん（横田）の二人が答辞を述べました。

二人は第一中学校と横田中学校に入学して過ごした2年間のことや、昨年の4月の統合間もない頃にそれぞれ違う中学校出身という些細なことでもつかり合ったこと、そういう時期を乗り越えて成功させた初めての金中祭での喜びなどの思い出を話し「3年間いろいろな人たちに支えられて自分に自信が持てる土台ができました。金山中学校の新設という節目に関われたこと、金山中学校を卒業することを誇りに思います」と中学校生活3年間の思い出をかみしめて溢れ出るものをこらえながら話しました。

夢への一歩



式歌を歌う卒業生

式の最後には式歌「はばたこう明日へ」を卒業生在校生が全員で歌い、第1回卒業式は感動のうちに幕を閉じました。

そして卒業式の感動も冷めやらぬ中、全校生徒が登壇して卒業賛歌「旅立ちの日に」を歌い、列席した来賓や保護者に澄み渡る見事な歌声を披露しました。

卒業式後には校舎前で在校生や先生方が卒業生を見送り、思い出を語り合ったり一緒に写真を撮ったりして卒業生との別れを惜しみました。また、応援団が校歌を歌うなどして旅立つ卒業生にエールをおくりました。



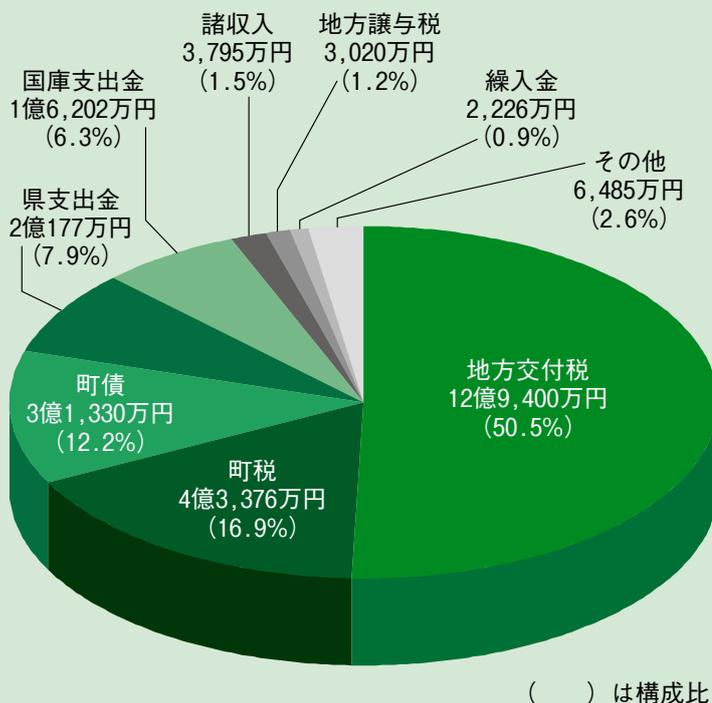
多くを学んだ恩師との別れ

卒業生は、学校統合という大きな環境の変化によってたくましく成長しました。固いきずなで結ばれた16名は、自らの進路に向けてその一歩を踏み出しました。

25億6,012万円

当初予算決まる

平成22年度の金山町の当初予算が決まりました。町民の皆さんが納めた税金や国や県からの交付金など限られた財源の中で慎重に事業を選び地域の活性化を進めつつ、健全な財政運営に努めていきます。



※その他＝地方消費税交付金、分担金及び負担金、自動車取得税交付金、寄付金、繰越金、使用料及び手数料、財産収入、地方特例交付金利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金

平成22年度一般会計当初

予算は総額25億6012万円となり、前年度と比較して1億1430万円の増額となりました。

増額の大きな要因は、公債費の支出は平成21年度に引き続き減少するものの、町道改良事業などの投資的事業費が大幅に増額となることなどによるものです。

歳入の特徴

町主体で収入できる自主財源よりも、国や県が定めた額の交付や割り当てによる収入の依存財源がその割合を占めています。主な歳入の特徴は次のとおりです。

自主財源

▼町税

町税は大規模償却資産に係る固定資産税の減少などにより減額されています。

繰入金

繰入金は財源不足に対応するため、財政調整基金や電源立地地域対策交付金維持補修基金の繰り入れで増額されています。

依存財源

▼国庫支出金

国庫支出金の増額は子ども手当交付金の創設及び、地域活力基盤創造交付金に係る補助金などの増により増額されています。

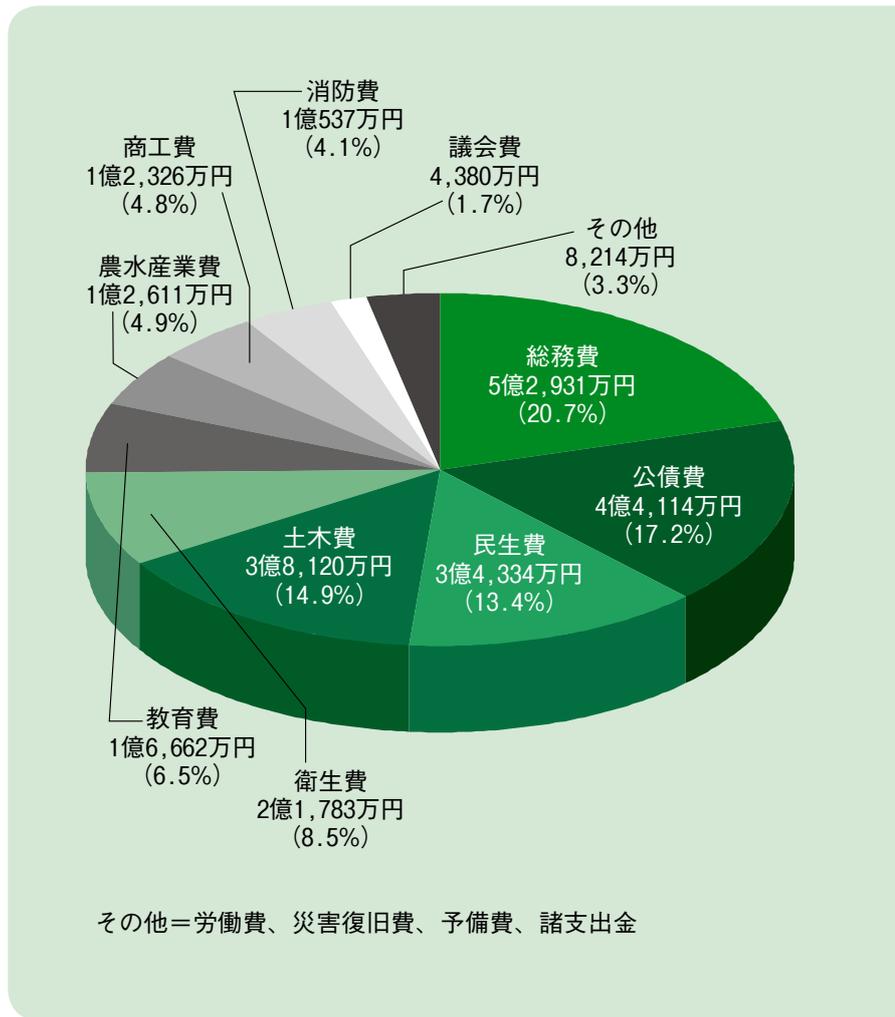
▼県支出金

県支出金の増額は緊急雇用創出基金事業などの新規事業や、選挙費委託金の増などにより増額されています。



町の未来を担う子供たち
(川口保育所修了おひわいの会)

一般会計予算



歳出の特徴

投資的経費

施設や道路など将来残るものに対して支出される投資的経費の主な事業とその額は次のとおりです。

- 町道滝沢・田沢線改良工事 2億3,200万円
- 林道本名・室谷線改良事業 3,376万円

- 町道中川・大栗山線改良工事 1,500万円
- 除雪ドーザ購入事業 1,300万円
- スキー場リフト整備工事 1,080万円
- 旧五十島家住宅屋根ふき替え工事 1,047万円
- 県総合情報通信ネットワーク機器更新負担金 568万円
- 防火水槽整備事業 550万円



設置から10年が経過し整備が必要なりフト

会計名	予算額	前年比
国民健康保険事業勘定 ※医療費など	3億9,808万円	1,003万円増
国民健康保険施設勘定 ※診療所の運営	1億3,960万円	349万円減
簡易水道事業	1億 926万円	1,433万円減
老人保健事業	1万円	355万円減
町営バス事業	1,805万円	93万円減
農業集落排水事業	698万円	64万円減
介護保険	4億3,808万円	87万円増
特定地域生活排水処理事業	1億2,387万円	3,031万円増
後期高齢者医療	4,776万円	274万円減
特定環境保全公共下水道事業	4,237万円	新規事業

特別会計

▼簡易水道事業
玉梨・八町地区簡易水道施設整備事業が昨年度をもって終了したことにより会計規模が縮小しました。

▼老人保健事業
後期高齢者医療制度導入により経過措置として設置していましたが、今年度もって廃止となるため、支出が限定されることになりました。

▼特定環境保全公共下水道事業
新たに設置した特定環境保全公共下水道事業特別会計は、川口地区における下水道を整備するための測量設計などを行います。

今年度の特別会計は10会計で予算の合計は13億2,406万円となりました。全10会計の予算額と前年度比は左表の通りです。

老人保健事業

後期高齢者医療制度導入により経過措置として設置していましたが、今年度もって廃止となるため、支出が限定されることになりました。

特定環境保全公共下水道事業

新たに設置した特定環境保全公共下水道事業特別会計は、川口地区における下水道を整備するための測量設計などを行います。

暮らせる町づくり

住民の皆さんが安全にそして安心して暮らせる町を目指した町づくりが始まりました。平成22年度の主な事業内容についてお知らせします。



多くの観光客が訪れる沼沢湖

将来を見据えた 施策の実現

ここ数年町を取り巻く状況は、人口は減少の一途をたどり少子高齢化に拍車がかかっています。さらに産業が衰退するなど多くの課題に直面しています。

このような中で町は、国の補助制度に安易に取り組み政策を実施するのではなく、町の現状を十分に認識した上で将来に向けて町民の皆さんの生活が安定する方向をしっかりと見極めて、最も適切な政策を選択して実施していきます。

産業基盤の確立

町内の産業は公共工事の減少などの影響があらゆる業種に波及して非常に疲弊しています。

安定した雇用の場の確保すら困難なものになっている町内の産業基盤の確立を図ります。

▼第一次産業の活性化

町で初めてとなる農業生産法人を町民・町・JAが三者一体となって立ち上げました。

今後立ち上げた農業生産法人が第一次産業の活性化と地域活性化の一翼を担っていくと考えています。

具体的には耕作放棄地の拡大防止、新たな付加価値を付けた町特産の農産物の開発などで働く場の確保を図ります。これが第二次産業や第三次産業などの振興にもつながると考えています。

▼光ファイバー網の敷設

町内全域に光ファイバー網を整備します。今年のサービス開始に向けて4月から工事を開始します。

光ファイバー網の敷設により都市部との情報格差を無くし、企業が活動し続ける基盤づくりと若者の流失を防ぎ魅力ある町づくりを進めていきます。



光ファイバーにより良くなるインターネット環境

安全で安心して

高齢者対策

高齢者が安心して暮らせる町づくりに取り組みます。

▼除雪対策

除雪ボランテニアなどの対策を検証しながら、関係団体と情報交換をして高齢者の除雪対策の充実を図ります。

▼乗合タクシー

乗り合いタクシー制度の改善に取り組み、高齢者が気軽に外出できる足の確保に努めていきます。

▼かねやまホームの増床

施設介護を望む待機者が多く、老老介護や一人暮らしなど高齢者を取り巻く状況は大変なものがあります。



高齢者の交流の場でもある敬老会

観光の振興

町を訪れる観光客の利便性と、町の活性化を図ります。

▼近隣町村との連携

奥会津5町村（金山町・只見町・昭和村・三島町・柳津町）で構成する協議会で広域連携を図ります。具体的には観光を軸とした農商工の連携、二地域居住対策、広域観光のPRなどに取り組んでいきます。

生活環境の整備

町民の皆さんが安全に安心して暮らせるように生活環境の整備を進めます。

▼生活道路の整備

町道滝沢・田沢線改良工事を引き続き推進します。

▼特定環境下水道事業

今年度から川口地区の特定環境下水道事業に着手し合併浄化槽設置事業とともに公共水域の環境保全に努めていきます。

このほかにもきめ細やかで身近な町道・農林道・水路の補修など生活環境整備に努めていきます。

健康と福祉の充実

町民の皆さんが安全に安心して暮らせるように医療体制と福祉の充実を図ります。

▼人間ドック事業

3年毎の人間ドック受診を継続して実施し、疾病の早期発見・予防に努めます。

▼診療所の運営

引き続き県立宮下病院の支援を得ながら診療体制の維持と施設の運営をしていきます。

教育環境の整備

町民の皆さんが安心して子育てが出来るように対応していきます。

▼保育所の運営

保護者の皆さんが安心して子育てが出来るように対応していきます。

▼校舎の耐震化

学校の耐震工事などの事業をできるだけ早急に完了できるように進めていきます。

施設整備が完了するとハード事業は一応整備されますので、今後は児童生徒の学力向上や心の教育など精神面での心の充実を図りたいと考えています。



それぞれ進級する児童たち(金山小学校終了式)

大粒の雪が降る中 新たな旅立ち

緑のふるさと協力隊として金山町に派遣されていた都築朋恵さんが一年間の活動を終わりました。町を離れる3月11日、会津横田駅には活動拠点だった横田地域の住民など約30名が駆けつけ、都築さんとの別れを惜しみました。都築さんは「ありがとうございました。また金山に来たいと思います」と涙ながらに話し、自らの夢に向かい歩み出しました。



地域の人たちに見送られ旅立つ都築さん

農業の振興 そしてこれからを考える

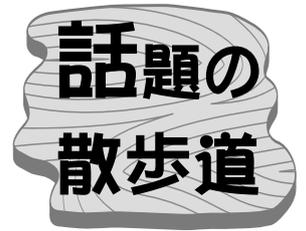
低コスト稲作栽培と金山町農業の展開についての講演会は3月16日、横田公民館で行われ約40名が参加しました。町とJA会津みどり金山総合支店が主催し、手代木昌宏会津坂下農業改良普及所次長と菅家文左衛門農学博士を講師に招き行いました。参加者は「ムダな生育をさせないことが美味しい米を作るポイント」との説明にメモをとりながら講演を聞いていました。



金山町の農業のこれからについて語る菅家農学博士

18団体が参加し 活動の成果を発表

金山町文化協会総合発表会は3月6日、御神楽館で行われました。ステージ発表では日本舞踊の華麗なや大正琴などが披露されました。来場者はさまざまな発表を楽しむ他、アリーナに展示された俳句・短歌・写真などの作品を鑑賞したり茶の湯で一息入れたりしていました。



児童による白虎隊の舞い

先人たちの技術と知恵を引き継ぐ 匠の技が集まる

手工芸品・伝統食品の展示会は3月13と14日、横田公民館で行われました。これは横田公民館が忘れられつつある昔から地域に受け継がれている味や技をもう一度見直そうと考え主催したものです。会場にはわら細工・つる細工・打ち豆・こんにゃくなどの作品が所狭しと並びました。また14日には即売会も行われ、来場者はお目当ての作品を買い求めていました。



多くの作品がならんだ展示会

おとうさんおかあさんありがとう 町内保育所で修了おいわいの会

町内保育所の修了おいわいの会は3月26日に行われました。川口保育所で9名、横田保育所で1名に保育所長から保育証書が手渡されました。保育証書を渡された児童は保育証書を持ち保護者のもとへ歩みより、今までの感謝の気持ちを大きな声で言いました。その後、おわかれのことばを言い、そつえんのうたを歌い4月から元気な一年生になることを約束しました。



保育証書を手渡される佐藤晴揮くん（横田保育所）

練習の成果を競う かねやまGS大会が開かれる

スーパースポーツゼビオカップ2010かねやまGS大会は3月20日と21日、かねやまスキー場で行われました。大会には全国各地から約280名が参加しました。20日は雨が降り、なおかつ強風が吹くあいにく天候のもとのレースとなりました。参加した選手たちは悪条件の中で一秒でも早くゴールしようと果敢にポールを攻めていました。



果敢な滑りをみせる参加者

今の体育館で最後の卒業式 11名が学舎を巣立つ

金山小学校の卒業証書授与式は3月23日に行われました。式では卒業生11名一人ひとりに卒業証書が授与され、高橋賢司校長が「これからは何でも挑戦する勇気を持つこと、人に感謝の気持ちを忘れず接して欲しい」と式辞を述べました。教育委員会告辞、来賓祝辞に続いて卒業生と在校生が別れのことばを行い卒業生が中学生活での目標や将来の夢などを語り、卒業式のために練習してきた「旅立ちの日に」を歌いました。金山小学校体育館は新築されるため、今の体育館では最後の卒業式となりました。また、横田小学校でもこの日卒業証書授与式が行われ、3名が学舎を後にしました。



横田小学校では3名が卒業



心も体も成長した卒業生（金山小学校）

お知らせ

表彰

町体育協会表彰

町体育協会の表彰式が3月30日、開発センターで行われ、平成21年度中に各種大会で好成績をおさめた個人・団体に表彰状と副賞が贈られました。



優秀選手賞を受賞した諏佐遥さん

【優秀選手賞】

諏佐 遥

（仙台大学2年・小栗山）
福島県総合体育大会スキ

ー競技

成年女子A大回転

第3位

【優秀団体賞】

◆金山町本名チーム（ゲートボール）

◆塩川町花しょうぶ祭ゲートボール大会

優勝

◆（全会津市町村協会主催）金山Aチーム（卓球）

◆全会津家庭婦人卓球大会

三部

第3位

◆金山中学校男子バレーボール部

◆両沼中体連バレーボール

競技男子

優勝

◆全会津中体連バレーボール

競技男子

第2位

今月の納税

- 固定資産税 1期
- 軽自動車税 全期
- 保育料 4月分

納期限

4月30日まで

納め忘れにご注意ください

◆かねやま（家庭バレーボール）

◆県民スポーツ両沼大会家庭バレーボールの部

優勝

◆同会津地域大会家庭バレーボールの部

優勝

◆金山チーム（ゲートボール）

◆全会津総合体育大会ゲートボール男子選抜

優勝

◆（全会津市町村協会主催）金山町西谷Bチーム（ゲートボール）

◆会津支部ゲートボール大会

会

第2位

◆川口高等学校スキー部

◆福島県高等学校スキー大会

会

男子学校対抗

第6位

女子学校対抗

第6位

◆福島県高等学校新人スキー大会

男子アルペン

総合優勝

◆川口高等学校ボート部

◆福島県総合体育大会ボート競技

女子舵手付きクオドルプル

優勝

◆東北高等学校選抜ボート大会

女子舵手付きクオドルプル

優勝

など

ご寄付に感謝

広報送付に対して

次の方からご寄付をいただいています。

●東京都昭島市の角田富男さんから1万円

ご寄付は広報紙面の充実に活用させていただきます。

ご協力ありがとうございました。

これからの予定

★4月★

18日(日)

小中学校合同資源物回収
横田小学区

21日(水)

●運転免許更新
午前9時～開発センター

24日(土)

●無人販売所オープン
午前9時30分～
JA会津みどり金山総合支店前

25日(日)

●金山町消防団春季検閲式
午前10時～
中川グラウンド

29日(木)

●沼沢湖周辺観光施設オープン

★5月★

7日(金)

●心配ごと相談
午前10時～ ゆつゆう館
午後1時～ 横田公民館

9日(日)

●小中学校合同資源物回収
金山小学区

13日(木)

●行政相談
午前10時～ 金山町役場

22. 4. 10

広報かねやま

10

案内

軽自動車税 納税通知書の様式変更

平成22年度から軽自動車納税通知書の様式がはがきタイプに変更されます。

現在、納付書により納付している方は、はがきに付いた納付書で納めることになりしますのでご注意ください。

◎問い合わせ：税務係

☎54-51121

町水道メーター検針

5月1日から5日までの間に町水道メーターの検針を実施します。

検針のため、検針員が各戸を訪問しますので、検針メーターの上に検針に障害のあるものが置いてある時は、4月中に取り除いておいてください。

なお、雪解け後のこの時期は漏水が多く発生しますので自主点検を行いましよう。

※水沼・高倉・三更・太郎布・田沢の各地区は該当ありません。
また、長期間不在時の漏

水防止のために閉栓し、再び止水栓を開ける「開栓」を希望される方はお早めにご連絡ください。

◎問い合わせ：上下水道係

☎54-5315

出生・死亡・婚姻などの届けをされる方にお願

国勢調査実施年の平成22年4月1日から平成23年3月31日までの間に出生・死亡・死産があつて届け出られる方と、この期間に婚姻・離婚の届け出をされる方は、届書に職業を記入していただくことになりましたのでご協力をお願いします。

※死亡届を出すときは死亡した人が働いていた事業所が属する産業の記入も含まれます。
詳しくは届書を記入するときに窓口でお聞きください。

◎問い合わせ：住民福祉係

☎54-5131

新型インフルエンザの 予防接種

新型インフルエンザの予防接種に対する町の助成は、4月以降も引き続き行います。生活保護世帯と住民税

非課税世帯の方、妊婦、1歳から中学生までは全額を助成します。

また、課税世帯の方で、国が定めた優先接種対象者は半額助成となります。

◎問い合わせ：保健医療係

☎54-5135

人事

消防団長

平成16年4月から6年間金山町消防団長を務められた菅家要一郎さん（本名）が退任されました。

後任として五ノ井和彦さん（高倉）が団長に任命され、4月1日に押部源二郎金山町長職務代理者から辞令書が手渡されました。五ノ井さんの任期は平成22年4月1日から2年間です。



辞令を受ける五ノ井さん

交通教育専門員

金山町交通教育専門員に栗田傳一さん（本名）が選任され、4月1日に押部源二郎金山町長職務代理者から辞令書が手渡されました。栗田さんの任期は平成22年4月1日から平成25年3月31日までの3年間です。



辞令を受ける栗田さん

町職員人事異動

次のとおり町職員の人事異動がありました。

（ ）内は前任です。

【3月31日付】

★退職

越尾新吉

（総務課車両主任）

【4月1日付】

★異動

総務課長・選挙管理委員会書記長 栗城英雄
（住民課長・横田出張所）

長・保育所長・診療所事務長）

▼住民課長・横田出張所長・保育所長・診療所事務長 栗城耕作
（出納室会計管理者・出納室長）

▼出納室会計管理者・出納室長・総務課総括主幹 長谷川一夫
（総務課長・選挙管理委員会書記長）

▼住民課住民福祉係 菅家糖文
（地域振興課農林観光係）

▼奥会津五町村活性化協議会駐在 渡部洋人
（地域振興課農林観光係）

▼地域振興課上下水道係 五ノ井和博
（住民課住民福祉係）

▼地域振興課農林観光係 土田純一
（地域振興課上下水道係）

▼総務課車両主任 菅家儀一
（教育委員会主任運転手）

▼新採用
総務課政策財政係

栗城亮
（小栗山）



栗城亮
（小栗山）

後期高齢者医療保険料に関する変更点

▶平成22年度における保険料率

- ・均等割額 40,000円
- ・所得割率 7.60%

被用者保険の被扶養者であった方は、被保険者になった月から所得割額が賦課されず、均等割額が9割軽減されます。

※平成21年度までは加入から2年間に限り軽減することとされていましたが、2年間経過後も9割軽減が継続されるように変更されます。

◎問い合わせ…福島県後期高齢者医療広域連合事務局

☎024-563-3310

高下上大水上宮板大橋本西玉八小川地
倉大牧沼田崎下志立名谷梨町山口区

渡諏渡青星目星本長栗遠角押栗横
部江部柳黒多川田藤田部城山氏
静康勇一光一捷勝傳晴信文源軍
雄幸吉二雄男始一雄郎男雄衛作介名

越山山田滝大西土上横太沼三福大地
川入入沢沢塩部倉田田布沢更沢山区

横須須渡菅佐小菅横小若五加若本氏
田佐佐部家藤林家田林林島藤林名
和盛政藤健健重正一吉昭豊一名
弘一孝雄一満一男男郎正治夫昇男

平成22年度の区長さんが決まりました。
一年間よろしく願います。(敬称略)

会津坂下消防署 金山出張所からのお知らせ

山火事注意！

「消さないで 小さな命の 帰る場所」

空気が乾燥し、山火事が多発する時期を迎えます。山火事の怖さとしては火の粉が飛散し同時多発的に着火延焼すること、延焼スピードが速いこと、消火活動が困難なことなどが挙げられます。大規模な火災に発展して地域社会に甚大な影響を与えることから、山火事を発生させないことが最も大切です。下記のことには注意して山火事をなくしましょう。

- 1 枯草などのある火災が起こりやすい場所では、絶対にたき火をしない。
- 2 たき火をするときは周囲にも知らせ、水バケツなどを準備しその場を離れない。
- 3 風が強いときや空気が乾燥しているときにはたき火をしない。
- 4 たばこの火は必ず消し、絶対に投げ捨てをしない。
- 5 火遊びをしないさせない。

◎問い合わせ…会津坂下消防署金山出張所

☎55-3100

会津坂下警察署からの お知らせ

金山町街頭犯罪発生状況 (平成22年1月1日から2月末現在)

区 分	管 内	金山町
空き巣ねらい		
忍 込 み		
出 店 荒 し		
自 動 車 盗		
オ ー ト バ イ 盗		
自 転 車 盗		
自販機ねらい	1	
車 上 ね ら い		
部 品 ね ら い	1	
強 制 わ い せ つ		
街 頭 犯 罪 合 計	2	0
全 刑 法 犯	15	0

※全刑法犯には街頭犯罪以外（器物破損・暴行・傷害・万引き・詐欺など）の犯罪発生件数が含まれます。

振り込め詐欺に利用される可能性のある郵便事業の株式会社サービスについて

ポストパケット・レターパック500・レターパック350からの現金やその他貴重品の送付はできません。上記のサービスを利用した現金などの送付話しがきたら振り込め詐欺の可能性が高いです。お近くの警察署・駐在所に連絡してください。

ファミたんカードが 新しくなりました

平成22年4月1日からファミたんカードが新しくなりました。まだ新しいカードの交付を受けていない子育て家庭の方はお早めにお住まいの市町村窓口でお申し込みのうえカードをお受け取りください。

▶ファミたんカードとは？

18歳までの子どもがいる子育て家庭に交付され、協賛店で提示すると割引・特典などのサービスが受けられるカードです。

▶カードの入手方法

お子さんが小・中・高校などの学校や幼稚園・保育所などに通っている場合は既に学校などを通して配布されています。配布されていない時は各市町村の子育て支援担当窓口で申し込みができます。

◎問い合わせ…県庁子育て支援課

☎024-521-7198

被用者保険に加入する 家族の特定健康診査

被用者保険に加入する家族の特定健康診査受診までの流れと受診日に持参するものをお知らせします。

▶受診までの流れ

①加入している医療保険者（保険証の発行元）から「特定健康診査受診券」の交付を受けます。

※受診券の交付には申請が必要になる場合があります。加入する医療保険者へお問い合わせください。

②受診場所・健診費用（自己負担額）を確認する。
※検査内容や自己負担額は加入している医療保険者により異なります。

▶受診日に持参するもの

- ・特定健康診査受診券
- ・保険証
- ・検診費用（自己負担額）

※お持ちの方は前年度の検診結果通知書

◎問い合わせ…全国健康保険協会福島支部

☎024-523-3916

宮下病院だより

～出前講座を実施して～

富田 佳加 看護師

皆様、こんにちは。三寒四温を肌で感じ、春の訪れが待ち遠しい季節です。皆様のご家庭でこの記事を手にする頃は、きっと桜の便りも届く季節でしょう。

さて、当院で2年前から開催している出前講座をご存知ですか？

「参加したことがある」という方もいらっしゃると思います。まだ聴講されていない方は、ぜひいかがでしょうか？3人4人でもどこへでも伺います。それは私の担当する講座の名前にもなっていますが、皆様に『いつまでもいきいきと自分らしく』過ごしていただきたいからです。

皆様の身体と心の健康生活に、当院の出前講座をどんどんご利用いただければと思います。

ところで私は講座を実施していく中で多くの地域住民の方と病院外でお会いする機会に恵

まれました。

出前講座という場は看護師として認知症予防の話や運動を提供する立場よりも、人生の大先輩である参加者の皆様と共に楽しみ、人とのつながりを心底でかみしめることができる場であると感じます。教える～教えられる場ではなく、一緒に同じ時を楽しむ場なのです。

従って皆様は『何か覚えて行こう』というより1つでもいいので『家で参考にしよう』と思っていたら幸いです。

皆様の笑顔や真剣なまなざしや温かさは元気の源として、私の心のお土産になっています。

そして、参加者とのふれあいは日常の看護業務の原動力になっているのを感じながら帰路に着く今日この頃です。

巡る季節の中でこの地域のどこかで、皆様と共に楽しい時間が過ごせることを心待ちにしています。

出前講座のお問い合わせ

県立宮下病院 事務部

☎0241-52-2321

奥会津金山谷 どぶろく特区認可 ～どぶろくを金山の特産品に～

福島県で 5番目の許可

金山町で申請した「どぶろく特区」が3月23日に国の認可を受けました。

これは、構造改革特区制度の規制緩和を活用するもので、金山町全域でどぶろく造りが行えるようになります。

福島県内では、すでに隣接する只見町や川俣町などが許可を受けており、金山町は5番目です。全国ではすでに98件のどぶろく特区が存在します。町ではこの取組みを広げるために新たにどぶろく造りに取り組む人を募集しています。



金山産の良質な米

どぶろく 特区制度の概要

どぶろく特区の認定を受ければ、誰でも自由にどぶろくを造れる訳ではありません。

例えば自家用であっても、酒税法違反となります。造れる人は、農家民宿や飲食店を営む農業者（特定農業者）で自ら生産した米を原料にどぶろくを造る場合に限られます。

また、どぶろくの製造は保健所や税務署の許可を受けてからでないとできません。製造できる酒類は、米・米こうじ・水などを原料として製造できるもので、こさないものに限ります。

製造に関する留意点

製造したどぶろくをこすことや蒸留すること、あるいはどぶろく以外のものを混和することはできません。どぶろくの上澄み液を他の容器に取り分けることも「こす」ことになります。しかし、すりつぶすことや加熱殺菌することはできません。



販売に関する留意点

どぶろくは、自己の民宿や食堂でしか提供できませんが、製造場での販売はできます。金山町以外の方にも販売できます。ただし、製造場以外の場所で販売する場合は、酒類販売業の免許が必要です。

どぶろく 製造までの流れ

どぶろくを製造するためには、保健所の酒類製造業許可、税務署のその他の醸造酒製造免許、県ハイテクプラザなどで実施する酒類製造技術研修が必要です。製造場の改築から製造できるまでは、早くても5～6か月間を要します。

どぶろく特区により期待される効果

- ①地産地消と特産品の販売による農業ビジネスの推進
- ②イベントとのタイアップによる知名度の向上と誘客
- ③農家民宿等での「どぶろく」提供による地域への誘客促進

今後の取組み

どぶろく特区の有効活用により右記のような効果などが図られ、町の活性化に結びつくものと期待されます。

金山町では今後、どぶろくが金山町の魅力の一つとなるように取り組んでいきます。

◎問い合わせ：政策財政係

☎ 54 1 5 2 2 2

図書室だより

☆ あたらしい本が入りました ☆

一般向け 太陽を曳く馬（上・下）

高村 薫 著（新潮社）

～合田雄一郎がミレニアムを挟んで挑む二つの事件。ミステリー小説です。～



児童向け おでかけのまえに

筒井頼子 作・林 明子 絵（福音館書店）

～ピクニックに出かける前に、女の子のはずむ心を描いた絵本。読んであげるなら2歳から。～

児童向け ミッケ！

ウォルター・ウィック 写真

ジーン・マルゾーロ 文・糸井重里 訳（小学館）

～精巧なジオラマを写した写真の中にかくれているさまざまな物を探していく謎解き絵本。～



◆図書館の利用状況（3月分）
月刊貸出冊数 82冊
（うち児童書 59冊）

◆県立図書館本の紹介
○いやなやつほど成功する
スタンリー・ビング 著
吉田 利子（草思社）
○“ハリーポッター”の料理・お菓子
魔法の料理会 著（コアラックス）
○101個のレモン
俵 万智 著（文藝春秋刊）

貸し出しは1人3冊まで、貸し出し期間は2週間です。土曜日も利用できます。

◎問い合わせ 中央公民館
☎ 54-5360

あの人この人

3月届出（敬称略）

こんにちは赤ちゃん

高橋遼太郎（父・高橋 一彦）（西谷）
（母・ 富枝）

お二人で幸せに

該当はありませんでした。

霊よ安らかに

五ノ井 謙 一	(94歳)	小栗山
栗 城 ミツエ	(95歳)	川 口
五十嵐 良 枝	(85歳)	川 口
佐々木 ナ ミ	(96歳)	玉 梨
藤 家 寅 吉	(72歳)	上横田
藤 家 テルヨ	(83歳)	上横田
中 丸 イツミ	(93歳)	大 志
菅 野 十四男	(84歳)	本 名

※このコーナーに掲載を希望されない方は、届け出時に申し出て下さい。

金山町の人口（4月1日現在）

世帯数	1,140世帯	(+ 2)
人 口	2,604人	(- 12)
男	1,231人	(- 3)
女	1,373人	(- 9)

※（ ）内は先月比

診療所歯科だより



フッ素入り歯磨き

市川公久 歯科医



前回の続きになりますが、フッ素入り歯磨きは、確かにフッ素が入っていてそれ自体歯を丈夫にする効果があります。

しかし、フッ素は歯に付いた瞬間に歯の表面に沈着するわけではなく、最低でも30分はうがいをしないようにしないとイケません。ですから、歯磨きをしてうがいをしないというのは気分が良いものではないでしょうから、最初は何も付けずに丁寧に磨いた後少量のフッ素入り歯磨きで歯に塗り込むつもりで再度磨き、うがいをせずにつばを吐き出す程度に留めるのがフッ素入り歯磨きを使うコツだと思います。しかし、フッ素入り歯磨きも医薬部外品ですから濃度が低いのが難点です。

市販品でフッ素入りのスプレーがありますが、これだと歯磨きの後に歯にスプレーしても歯磨き粉ほどは口に残りませんからうがいをしなくても気にならないと思います。

◎問い合わせ…金山町国保診療所
☎ 54-2031

金山は素晴らしいところ

ジェフリードさん(西谷)



わらで作ったオブジェの前に立つジェフリードさん

今月はイギリスから金山町に来て一年が経過したジェフリードさん(西谷)に金山の印象などを伺いました。

美しい土地

「子どもにも日本語を学ばせたいと考えていました。金山は大雪が降るし、不便なところだと聞いていました。しかし、実際に住んでみると金山は素晴らしく、そして美しい土地だと思います。特にほつきりした四季が魅力です。金山の中でも沼沢湖と周辺の山々が好きで、夏場に登山をしてその後に沼沢湖で泳ぐことがとても気に入っています」と話すジェフリードさんはロードバイクやランニングなども楽しむ行動派です。

教育環境が整う金山町

「子どもの成長で一番大事なのは子どもが愛情を感じることでと思います。家族の愛情を受けることはもちろんですが、学校や地域でも子どもを温かい目で見守っています。子どもを教育する環境が金山には備わっていると思います。子ども

もには成長していく中で思考の柔軟性と創造性を養って欲しいと考えています」と教育関係の仕事にも携わるジェフリードさんは話します。



文化協会総合発表会でバイオリンを披露

残したい文化

「金山の豊かな自然やそこに住む人たちが小さいときに歌った歌、語りや生活様式など、この金山の土地でなければ残すことができない文化を文書ではなく映像・写真・絵などで残したいと考えています。先日は金山小学校の子どもたちと一緒に金山の歌を作りCDに残しました。町の皆さんのいろいろな話しを集めた」と画家として活動している、芸術の分野に造りかけが深いジェフリードさんはその思いを話します。

只見川を一望！ 尻吹峠をスノーシュー でハイキング

太郎布高原から尻吹峠を経て川口に下るコースを散策するスノーシューハイキングが3月14日に行われ、参加者した11人は春のやわらかな日差しの中で心地よい汗を流していました。太郎布高原では暖かな陽気に誘われてウサギも顔をのぞかせ、訪れた参加者たちを歓迎しているようでした。

また、尻吹峠では雄大な只見川を眼下に見下ろす大パノラマが広がり、参加者は絶景をカメラに収めていました。

今回のスノーシューハイキングは、NPO法人奥会津金山あそびのがっこうと中央公民館が共催して行ったものです。



生涯学習のマスコット
マナビイくん

生涯学習 だより

152



眼下に広がる大パノラマに感動

こぶし館企画展 「金山町の八景歌」 その2を開催

風情ある自然美を伝え広げるために、一地方の景勝八つを歌で紹介しています。今回は、昨年の宮崎・沼沢に加えて本名八景の紹介と、滝沢八景の八景歌を綴った菅家信典氏所蔵の屏風の展示もしています。

また、昭和55年に公募により選定した金山八景を写真で紹介していますので、ぜひご覧下さい。